

2025年度「地質の日」経済産業省特別展示および関連イベントの開催報告

小松原 純子¹・持丸 華子¹・中村 淳路²・宍倉 正展^{1,3}・清水 徹¹・斎藤 真¹

1. はじめに

産業技術総合研究所(以下産総研)地質調査総合センター(以下GSJ)は、2007年に制定された5月10日の「地質の日」を記念し、例年経済産業省(以下経産省)本館1階ロビーにて特別展示を行っている。今年は、南海トラフ巨大地震の新たな被害想定が2025年3月に発表されたことに関連し、GSJが行っている南海トラフの地震に関する研究を紹介する展示を行った。

展示タイトルは「南海トラフ地震研究の今—地質を知り、地震に備える—」、展示期間は2025年5月8日(木)から6月3日(火)であった(第1図)。

展示期間中にGSJ職員による現地説明会を3回開催した。本展示の概要やパネルデータ等はGSJのウェブサイト

(https://www.gsj.jp/chishitunohi_meti/2025/index.html 閲覧日: 2025年9月10日)から閲覧することができる。

また、経産省での展示後、2025年7月1日(火)から31日(木)まで、AIST Solutionsが入居するシェアオフィスにて同内容のポスターが再展示され、最終日の31日には現地でトークイベントが開催された。9月9日(火)からは地質標本館で再展示され、さらに9月20日(土)と11月15日(土)には一般来館者を対象にGSJ研究者による説明会が開催された。これらの展示とイベントについて報告する。

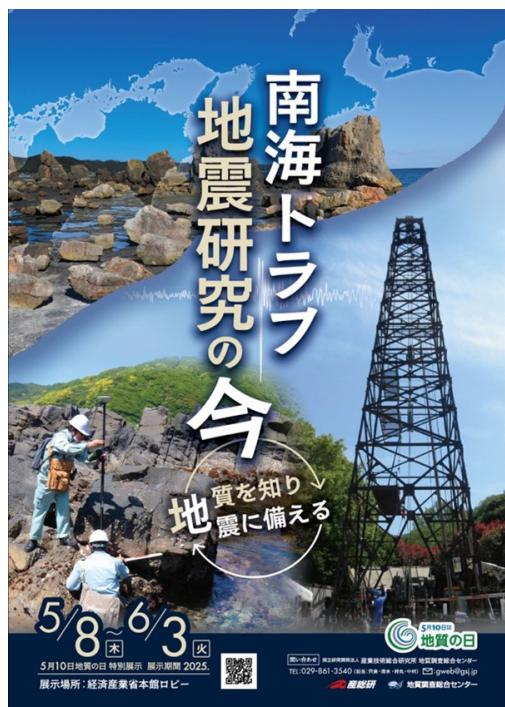
2. 展示内容

展示では15枚のパネル、実物展示、動画を用いて、南海トラフで発生する地震・津波に関する地質情報の整備、評価や予測手法など、GSJが行っている研究についてわかりやすく紹介した(写真1)。

「地質から過去の津波を知る」のパネルの前には津波堆積物のはぎ取り標本、地下水・ひずみ観測ネットワークの説明パネルの前には観測井掘削時のボーリングコア、コアリングビット、ひずみ計(テスト用実機)を展示した。2か所に設置したデジタルサイネージには、津波堆積物調査に関する写真のスライドショーとひずみ計に関する動画を流した。

3. 現地説明会

展示期間中の現地説明会について第1表にまとめた。5月19日(月)は石村和彦産総研理事長および経産省職員に対してそれぞれ現地説明会が行われた(写真2、3)。後者は10名程度の参加者数であった。5月23日(金)は気象庁長官、文部科学省の地震調査研究推進本部関係者、経産省職員に対してそれぞれ説明が行われた。経産省職員を対象とした説明会には30名程度の参加があった。5月27日(火)の現地説明会は、同日に開催された産総研自己評価検証委員会終了後に委員を対象に行われた。委員も含め参加



第1図 経産省特別展示の告知ポスター。南海トラフを示す地図を背景に、津波で岩塊が移動した橋杭岩と現地での調査風景、および地下水・ひずみ観測井の掘削風景を配した。

1 産総研 地質調査総合センター連携推進室

2 産総研 地質調査総合センター研究企画室

3 産総研 地質調査総合センター活断層・火山研究部門

キーワード: 地質の日、経済産業省、南海トラフ、地震、津波、観測



写真 1 経産省本館 1 階ロビーでの展示の様子。デジタルサイネージは左手前と右奥の 2 台あり、左手前で津波堆積物の調査研究に関する写真的スライドショーを、右奥でひずみ計に関する動画を上映した。

第 1 表 展示に伴う現地説明会等の対象と対応者。

開催日	場所	対象	対応者
2025 年 5 月 19 日 (月)	経産省本館ロビー	産総研理事長、経産省職員	澤井祐紀 (活断層・火山研究部門) 板場智史 (活断層・火山研究部門) 中澤 努 (地質情報基盤センター)
2025 年 5 月 23 日 (金)	経産省本館ロビー	気象庁長官、地震調査研究推進本部関係者、経産省職員	藤原 治 (GSJ 副総合センター長) 宍倉正展 (活断層・火山研究部門) 北川有一 (活断層・火山研究部門) 板場智史 (活断層・火山研究部門) 中澤 努 (地質情報基盤センター)
2025 年 5 月 27 日 (火)	経産省本館ロビー	産総研自己評価検証委員	中尾信典 (GSJ 総合センター長) 北川有一 (活断層・火山研究部門) 大坪 誠 (研究企画室)
2025 年 7 月 31 日 (木)	WeWork	WeWork 利用者	斎藤 真 (連携推進室) 今泉博之 (NP 技術実装研究センター長)
2025 年 9 月 20 日 (土)	地質標本館	一般来館者	宍倉正展 (活断層・火山研究部門) 北川有一 (活断層・火山研究部門) 板場智史 (活断層・火山研究部門) 中澤 努 (地質情報基盤センター)
2025 年 11 月 15 日 (土)	地質標本館	一般来館者	宍倉正展 (活断層・火山研究部門) 北川有一 (活断層・火山研究部門) 板場智史 (活断層・火山研究部門) 中澤 努 (地質情報基盤センター)

NP=ネイチャーポジティブ。

者は 10 名であった。いずれの説明会も好評であった。

4. WeWork での再展示とトークイベント

経産省ロビーでの展示について株式会社 AIST Solutions (以下 AISol) にもお知らせしたところ、展示を見た AISol の広報から、展示終了後に AISol が利用している WeWork というフレキシブルオフィス (シェアオフィス) で再展示したいとの提案があった。WeWork は AISol 東京オフィスと同じ、経産省のはす向かいにある日比谷フォートタワーに入っている。経産省ロビーの展示に用いたパネルはサイズが大きすぎたため、AISol のほうで一回り小さいサイズに

再出力して展示していただいた (写真 4)。2025 年 7 月の 1 か月間展示された。

最終日の 7 月 31 日 (木) には WeWork を利用している自治体や企業の方を対象とした AISol 主催のトークイベント & 交流会が開かれた (第 2 図)。トークイベントは「地質を知り未来を創る」と題し、GSJ 連携推進室連携オフィサーの斎藤 真氏と産総研ネイチャーポジティブ技術実装研究センター長の今泉博之氏が登壇した (写真 5, 6)。斎藤氏は展示してあるパネルの説明と地質情報の活用について紹介し、今泉氏はネイチャーポジティブの観点から自然と調和を保った社会経済活動について解説した。参加者数は 10 数名であった。



写真2 5月19日と23日の現地説明会の際に展示したひずみ計のデモ機と、それを石村理事長に説明する板場氏。



写真3 5月19日に行われた経産省関係者向けの現地説明会の様子。



写真4 WeWorkでの再展示の様子。撮影者：AIsoI 広報グループ。撮影場所：WeWork 日比谷フォートタワー。



第2図 WeWork で開催された AIST 主催のトーキイベント & 交流会のポスター。



写真5 トーキイベントで講演する斎藤氏。撮影場所：WeWork 日比谷フォートタワー。



写真6 トーキイベントで講演する今泉氏。撮影場所：WeWork 日比谷フォートタワー。

5. 地質標本館企画展

本稿投稿時点で、経産省ロビーでの展示内容は、一部の実物展示を除き地質標本館の企画展として再展示された（写真7,8）。展示期間は2025年9月9日（火）から12月7日（日）までである。

9月20日（土）には地質標本館1階ロビーにおいて展示パネルを前にGSJ研究者による説明会が開催された。説明会には一般来館者10数名の参加があり、熱心に耳を傾けていた。説明会終了後にはGSJ研究者に個別に質問をする方も多く、来館者とGSJ研究者とのコミュニケーションが図られた。この説明会では一般の方の南海トラフ地震および産総研の地震研究への関心の高さがうかがわれた。説明会は11月15日（土）にも開催された。



写真7 地質標本館での再展示（企画展）の様子。



写真8 9月20日に行われた地質標本館での説明会の様子。説明は宍倉氏。撮影者：中澤氏。

6. おわりに

本展示の開催にあたって経産省イノベーション・環境局基準認証政策課のご担当の皆様には様々なご支援をいただきました。コアリングビット、ひずみ計の実物展示については住鉱資源開発株式会社にご協力いただきました。気象庁広報室にはパネルへの写真掲載について許可をいただきました。

活断層・火山研究部門の北川有一氏、板場智史氏、澤井祐紀氏、地質情報基盤センターの中澤 努氏、GSJ総合センター長の中尾信典氏、研究企画室室長の大坪 誠氏、前室長の野田 篤氏には本展示のパネル作成や現地説明会の対応など様々なご協力をいただきました。

WeWork でのトークイベントの際にはネイチャーポジティブ技術実装研究センター長の今泉博之氏にご協力いた

だき、また AISol 広報グループの方々にはお世話になりました。

地質情報基盤センターの都井美穂氏にはパネルレイアウトを始めとする様々なデザイン、川畑 晶氏には展示パネルの印刷、正根寺幸子氏には web ページの作成でお世話になりました。連携推進室の長江敦子氏にはデジタルサイネージ用の動画作成を、利光誠一氏には展示パネルの文章校正を、川畑史子氏には研究関連普及出版物・成果発表 DB の登録をしていただきました。

以上の皆様に心より感謝申し上げます。

KOMATSUBARA Junko, MOCHIMARU Hanako, NAKAMURA Atsunori, SHISHIKURA Masanobu, SHIMIZU Toru and SAITO Makoto (2026) Report on "Geology Day" special exhibition 2025 at METI and related events.

(受付：2025年9月10日)